

農試第291号
平成20年4月15日

各関係機関の長様

福井県農業試験場長
(公印省略)

農作物病害虫発生予察予報の送付について

このことについて、下記のとおり発表しましたので送付します。

連絡先	福井県農業試験場 病害虫防除室
Tel	0776-54-5100
FAX	0776-54-6403
E-mail	byogaicyu-boujo@fklab.fukui.fukui.jp

平成20年農作物病害虫発生予察予報第2号

3か月の気象予報

4月の天気は数日の周期で変わり、気温の変動が大きい見込みです。

気温は平年並みまたは高い、降水量は平年並み、日照時間は平年並みと予想されます。

[水稲関係]

病害虫名 ばか苗病

1. 予報内容

発生時期：発病最盛期は4月下旬。

被害程度：微発、局少発。

発生量：育苗期の発生量は平年より少なく、前年並み。

2. 防除対策および防除上の注意点

発生予察予報第1号のとおりであるが、特に種子消毒は浸種前に行い、浸種開始から3日間は換水を控える。

病害虫名 苗いもち

1. 予報内容

被害程度：少発

発生量：平年より少なく、前年より多い。

2. 防除対策および防除上の注意すべき事項

発生予察予報第1号のとおりである。

水稻育苗後に野菜等を栽培する場合の注意事項

(1) 水稻育苗時の育苗箱処理剤の使用時期

育苗箱処理剤の使用は、移植当日に育苗ハウス等の外で散布処理をする。(育苗ハウス等の中では行わない)

(2) 播種時に育苗箱処理剤をやむを得ず使用する場合

①育苗箱処理剤を使用したハウスでは、水稻育苗後に野菜等を栽培しない。

②育苗箱処理剤の選択にあたっては、残留リスクをできるだけ回避するため、後作物に比較的大きい残留基準値がある薬剤を選択する。

③水稻育苗終了後にホウレンソウ、コマツナ等野菜類を栽培する場合、プール育苗においては、育苗期に施用した農薬が土壌に浸透しないようにする。

(3) 育苗箱処理剤を使用した苗や育苗残土の処理

育苗箱処理剤を使用した苗や育苗残土は、育苗ハウス等や畑には廃棄しない。

病害虫名 各種苗立枯病（糸状菌）

1. 予報内容

発生時期：初発は4月中旬。

発生程度：少発

発生量：平年より少なく、前年並み。

2. 防除対策および防除上の注意すべき事項

発生予察予報第1号のとおりであるのが、特に育苗ハウスの温湿度管理（夜間5℃以下、昼間25℃以上にならないように管理する。多湿を避ける）に留意し健苗育成に努める。

病害虫名 褐条病、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病

1. 予報内容

発生時期：初発は4月中旬。

発生程度：少発、局中発。

発生量：平年より少なく、前年より多い。

2. 防除対策および防除上の注意すべき事項

発生予察予報第1号のとおりであるが、特に育苗ハウスの温湿度管理（夜間5℃以下、昼間25℃以上にならないように管理する。多湿を避ける）に留意し健苗育成に努める。

[大麦関係]

病害虫名 赤かび病

1. 予報内容

発生時期：初発は5月はじめ。

被害程度：少発、局中発。

発生量：平年より少なく、前年より多い。

2. 防除対策および防除上の注意点

(1) 防除適期は開花はじめ～開花盛期である。そのために穂揃期とその7日後の2回薬剤防除を行う。

(2) 出穂期以降に降雨が続くと多発するので、天候の様子を見て防除を行い、防除時期が遅れないように注意する。

病害虫名 雲形病

1. 予報内容

被害程度：少発、局中発。

発生量：平年より少なく、前年並み。

2. 防除対策および防除上の注意点

(1) 本病は進展速度が遅いので、局部発生であれば防除の必要はない。

(2) 発生の多い圃場では止葉抽出期に薬剤を散布する。

(3) 種子伝染するので発病圃場からは採種しない。

病害虫名 株腐病

1. 予報内容

被害程度：少発、局中発。

発 生 量：平年、前年並み。

2. 防除対策及び防除上の注意点

(1) 麦の生育量が多い圃場では、発生が多くなるので注意する。

(2) 発生を認めたら、発生初期に薬剤を散布する。

[果樹関係]

果樹名	病害虫名	予 報 内 容			防 除 対 策
		発生時期	被害程度	発 生 量	
ナ シ	黒星病	初発： 5月中旬	(5月) 少発	(5月) 平年：少 前年：並み	1)脱苞期～交配直後にかけて重点防除する。 2)同一薬剤の連用は避ける。
	黒斑病	初発： 5月中旬	(5月) 少発	(5月) 平年：並み 前年：並み	1)脱苞期～交配直後にかけて重点防除する。 2)同一薬剤の連用は避ける。
	赤星病	初発： 4月下旬	(4月) 少発	(4月) 平年：少 前年：並み	1)中間寄主のビャクシ類はできるだけ広範囲に伐採する。 2)防除は開花直前から5月上旬にかけて行う。
ウ メ	黒星病	果実初発 5月中旬	少発 局中発	平年：並み 前年：並み	1)展葉初期から防除する。 2)多発園では防除間隔を10日以内にす る。
	灰色かび 病	果実初発 4月下旬	少発 局中発	平年：並み 前年：並み	1)開花終了直後から展葉期にかけて防 除する。 2)雨天が続く場合は、適宜追加の防除 を行う。
	かいよう 病	果実初発 4月下旬	少発 局中発	平年： やや多 前年：並み	1)生育期(4月上旬～5月)に抗生物質 剤で防除する。 2)常発園では葉芽発芽前にも防除す る。

果樹名	病害虫名	予 報 内 容			防 除 対 策
		発生時期	被害程度	発 生 量	
ウメ					3)防風対策等を実施する。 4)降雹後は直ちに抗生物質剤で防除する。
	アブラムシ類	加害初期 4月中旬	少発 局中発	平年： やや多 前年： やや多	1)展葉初期～生育期に防除する。